平成28年度
中間決算説明会

平成28年12月2日

中国銀行

平成２８年度中間期決算概要

決算概要	4
資金利益の増減内訳	5
主要勘定①預金・預り資産	6
主要勘定②貸出金	7
主要勘定③有価証券	8
邦貨主要利回り・利鞘	9
役務利益の増減内訳	10
預り資産収益の増減内訳	11
経費の増減内訳	12
与信コストの推移・不良債権の状況	13
自己資本の状況	14

平成２８年度見通しと主要施策の取組み状況

業績見通し	16
貸出増強の取組み	17
役務利益増強の取組み	21
有価証券運用戦略	22
FinTechへの取組み	23
長期ビジョン	24
組織活性化の取組み	25
株主還元	26

本件に関するお問合せ先

株式会社中国銀行　総合企画部　小原・馬越　TEL：**086-234-6519**、FAX：**086-234-6587**

Eﾒｰﾙ：**fvbs2960@mb.infoweb.ne.jp**

第Ｉ部

平成２８年度中間期決算概要

平成28年度中間期の業績　－ 決算概要 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

(億円)	25年度 中間	26年度 中間	27年度 中間	28年度 中間	前年比	計画比
コア業務粗利益	446	439	436	409	▲27	1
資金利益	369	362	358	334	▲24	▲3
役務利益	69	74	74	76	2	0
その他業務利益	7	2	3	▲1	▲4	4
経費 (▲表示)	▲287	▲289	▲277	▲281	▲4	6
コア業務純益	159	150	158	127	▲31	7
OHR (%)	64.2	65.8	63.6	68.8	5.2	▲1.7
与信費用 (▲表示)	43	18	26	27	1	26
債券売買損益・償却	▲21	2	4	7	3	7
株式売買損益・償却	19	15	26	9	▲17	▲9
その他	10	10	12	2	▲10	1
経 常 利 益	211	196	229	173	▲56	32
特 別 損 益	▲0	▲2	▲1	▲1	0	1
中 間 純 利 益	134	129	155	121	▲34	25
連結経常利益	231	213	242	184	▲58	36
親会社株主に帰属する中間純利益	143	135	160	125	▲35	27

・国内の超低金利（マイナス金利）環境の継続、外貨調達コストの増加による資金利益の減益影響が大きく、コア業務純益は前年比マイナス31億円。

平成28年度中間期の業績　－ 資金利益の増減内訳 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

(注) 預金利回りとの利鞘で算出

平成28年度中間期の業績　－ 主要勘定 ① 預金･預り資産 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【預金･NCD 平残推移】

【参考】預り資産残高の推移

(億円)	26中間	27中間	増減	28中間	増減	27年度	28年度 計画	増減
公共債	3,638	3,012	▲626	2,864	▲148	2,965	2,852	▲113
投資信託①	1,985	1,878	▲107	1,574	▲304	1,814	1,651	▲163
金融商品仲介	1,698	1,821	123	2,061	240	1,867	2,075	208
うち、投資信託②	610	761	151	862	101	806	871	65
保険	3,425	3,358	▲67	3,447	89	3,402	-	-
銀行本体	10,746	10,069	▲677	9,946	▲123	10,048	-	-
投資信託合計（①＋②）	2,595	2,639	44	2,436	▲203	2,620	2,522	-98
中銀証券	776	851	75	830	▲21	795	855	60

※公共債は額面ベースの平残。投資信託は純資産ベースの平残。金融商品仲介は取得価額ベースの平残。保険は解約を考慮した平残ベース。
中銀証券は債券･株式･投資信託の末残。

･個人預金は年率鈍化。法人預金は堅調に推移中。

平成28年度中間期の業績　－ 主要勘定 ② 貸出金 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【貸出金 平残推移】

※1その他 ： 香港支店、非日系、ストラクチャードファイナンスセンター、クレジット当座貸越

※2地元 ： 東京･大阪以外の地区

※3都市部 ： 東京･大阪

(億円)	26中間	27中間	前年比	28中間	前年比
非日系	40	256	216	569	313
ＳＦセンター	-	117	117	885	768
合計	40	373	333	1,454	1,081

27年度	28年度 計画	前年比
317	760	443
206	1,264	1,058
523	2,024	1,501

・積極的に貸出金増加に取組み、総貸出金年率は年率＋９．０％。
・地元事業性資金においても、資金需要の発掘･取込みにより年率＋８．３％。

平成28年度中間期の業績　－ 主要勘定 ③ 有価証券 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【有価証券 平残推移】

・28年度中間期は、償還により国債残高減少も地方債や外債、投資信託の積み増しを実施し有価証券残高は増加。
・今後も低金利環境が見込まれるなか、スプレッド妙味のある地方債や外債・投資信託の積み増しを継続予定。
・ただし、相場環境に応じて、ポートフォリオを機動的に調節し、過度なリスクの積み上がりは回避する。

平成28年度中間期の業績　－　邦貨主要利回り･利鞘 等　－

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【邦貨預貸利鞘、与信費用比率、ネット利鞘】

【有価証券利回りとデュレーション】

・マイナス金利を受けて邦貨預貸利鞘は前年よりも下げ幅を拡大。
・株式や投信等を含めた邦貨有価証券利回りでは1％前後の水準を維持。邦貨債券デュレーションは長期化するも、今後は徐々に短期化させる方針。

平成28年度中間期の業績　－ 役務利益の増減内訳 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【役務利益の推移】

・預り資産関連収益は減少したが、投資銀行業務やその他役務利益の増加により、前年比＋2億円。

平成28年度中間期の業績　－ 預り資産収益の増減内訳 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【預り資産関連収益の内訳】

・投資信託、金融商品仲介の販売が落ち込み、グループ合算収益は前年比マイナス4億円。

平成28年度中間期の業績　－ 経費の増減内訳 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【経費推移】

・システム機器の償却費の増加や各種施策費用の増加により、経費全体では前年比4億円の増加。

平成28年度中間期の業績　－ 与信コストの推移・不良債権の状況－

あしたも、いっしょに。 中国銀行

【与信コスト 推移】

【不良債権の状況】

※当行では部分直接償却を実施していない。

【債務者区分別の残高（自己査定結果）】

(億円)	27中間	構成比	28中間	構成比
正常先	36,417	92.3%	40,386	93.4%
要注意先	2,350	6.0%	2,220	5.1%
破綻懸念先	526	1.3%	412	1.0%
実質破綻先	139	0.4%	152	0.4%
破綻先	41	0.1%	47	0.1%
合計	39,474	100.0%	43,218	100.0%

与信コスト ＝ 一般貸倒引当金繰入＋個別貸倒引当金繰入＋貸出金償却＋特定海外債権引当＋債権売却損失引当＋債権売却損－貸倒引当金戻入益
その他の与信コスト＝貸出金償却、特定海外債権引当、債権売却損失引当、債権売却損

・取引先の業績改善により個別引当は戻入となり、与信コスト全体では27億円の戻入。

平成28年度中間期の業績　－ 自己資本の状況 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【単体自己資本比率（バーゼルIII）の推移】

【自己資本（単体）の状況】

（億円）	28/3期	28/9期	対比
総自己資本	4,864	4,902	38
普通株式等Tier Ⅰ	4,595	4,645	50
Tier Ⅱ	269	257	▲12
リスク・アセット等	33,407	35,397	1,990
信用リスク	31,765	33,778	2,013
オペレーショナル・リスク	1,641	1,619	▲22

【その他のバーゼル規制】

	28/3期	28/9期
連結レバレッジ比率	5.91%	5.65%
単体流動性カバレッジ比率（ＬＣＲ）	143.9%	126.6%

・貸出金の増加によるリスクアセットの増加により、総自己資本比率・普通株式等Tier Ⅰ比率はともに低下。

第Ⅱ部

平成２８年度見通しと
主要施策の取組み状況

平成28年度見通し　－　業績見通し　－

あしたも、いっしょに。
中国銀行

(億円)	27年度	28年度 計画	前年比	当初計画比
コア業務粗利益	855	805	▲50	▲6
資金利益	700	673	▲28	2
役務利益	150	148	▲3	▲4
その他業務利益	5	▲15	▲21	▲3
経費（▲表示）	▲554	▲553	1	▲0
コア業務純益	301	251	▲50	▲7
ＯＨＲ（%）	64.8	68.7	3.9	0.5
与信コスト（＋は戻入（益））	37	23	▲14	35
債券 売買損益・償却	17	17	▲0	17
株式 売買損益・償却	33	6	▲27	▲27
その他	16	▲1	▲17	1
経常利益	(連結 434) 406	(連結 320) 297	(▲114) ▲109	(＋22) 20
特別損益	▲3	▲3	0	1
当期純利益（※）	(連結 272) 259	(連結 214) 203	(▲58) ▲56	(＋15) 14

【ＲＯＥの見通し】

	27年度 単年	28年度 単年	3Ｙ平均	5Ｙ平均
連結ＲＯＥ（%）	5.2	4.1	4.8	5.0

※連結当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」のことを指します。

経常利益、当期純利益ともに前年実績を下回るが、当初計画を上回る見込み

前年比変動要因

（減益要因）
- 利鞘低下による資金利益の減少
- 外貨調達コストの増加
- 与信コストの戻入の減少
- 退職給付費用の償却額増加

当初計画比変動要因

（増益要因）
- 与信コストの減少（戻入の増加）
- 債券関係損益の増加

（減益要因）
- 役務利益の減少
- 株式売買損益の減少

貸出増強の取組み　- 事業性資金 -

あしたも、いっしょに。
中国銀行

■預貸率向上の方針の下、総貸出金の平残年率はプラス9%水準で推移。

■岡山県を中心に地元事業性資金は増加し、平残年率はプラス8%水準へ上昇。

預貸率の推移

設備資金新規実行額

地元事業性資金平残の年率推移 (%)

地元事業性資金平残の増減推移 (対前年同期比)

貸出増強の取組み　- 地域密着型金融・成長分野 -

あしたも、いっしょに。
中国銀行

■事業性評価を核とした「ちゅうぎん地域応援プロジェクト」により「地域密着型金融」を深化。

■ ライフステージに応じた各種ニーズ・課題に対して、最適なソリューションを提供。

ちゅうぎん地域応援プロジェクト

地域の産業全体の
活性化促進

一社一社の
企業価値向上

ライフステージに
応じた
最適な提案の提供

ちゅうぎん再生支援プロジェクトの取組み

債務者区分ランクアップ累計先数

成長分野向け融資の取組み

成長分野向け融資の実行累計額

創業支援の取組み

創業支援の施策

・岡山イノベーションプロジェクトの開始（平成29年度～）

貸出増強の取組み　- 国際業務 -

あしたも、いっしょに。
中国銀行

■アジアにおけるネットワーク充実、本部サポート体制の強化により、お取引先の海外展開を支援。

■海外進出支援関連融資や非日系融資は、堅調に増加。

海外ビジネスサポート体制の強化

海外5拠点、アジアデスクによる情報発信力を強化。現地情報ときめ細やかなサービスの提供により相談件数が増加。

相談件数の国別(※1)状況

※1:国名は相談対象の国名を表示(進出相談を含む)

海外ビジネスサポート体制の施策

- アジアデスクの体制強化および営業店への関与強化
- 海外拠点からの情報還元強化
- 業務提携など外部専門家の有効活用
- 海外拠点による案件発掘活動、営業店とのリレーション強化

国際業務関連融資　実行累計額

貸出増強の取組み　- 個人ローン -

あしたも、いっしょに。
中国銀行

■住宅ローン･アパートローンを中心に個人ローンは増加。

■無担保ローンは各種推進施策により、残高の年率は堅調に推移。

個人ローンの取組み施策

住宅ローン・アパートローン

住宅ローン･アパートローン施策

- ･提携先との関係強化
- ･権限委譲による迅速な営業体制の整備

採算性向上施策

- ･住宅ローンセンター内に「ほけんプラザ」を開設し、個人のライフプランに沿った提案営業実施

無担保ローン

カードローン施策

- ･郵送契約の実施
- ･ＡＴＭカードローンの対象先拡大･アウトコール実施
- ･既存顧客への積極的な増枠
- ･キャッシュバックキャンペーン実施

無担保証貸施策

- ･目的別ローンの長期キャンペーン実施
- ･ＷＥＢ広告の強化
- ･おまとめフリーローンの新設

個人ローン平残

アパートローンの年率推移

無担保ローン残高

無担保証貸残高の年率推移

役務利益増強の取組み　- 預り資産収益・投資銀行業務収益 -

あしたも、いっしょに。
中国銀行

■コア・サテライト戦略の継続により、預り資産収益のストック収益力の強化。

■事業性評価先への多様な提案や法個連携による総合提案により、フィービジネスを強化。

預り資産業務の取組み

・不安定な市況下でも「コア資産」の積み上げを継続し、長期的な収益力を強化

コア投信残高 (個別元本基準)

平準払い保険販売累積件数

投資銀行業務の取組み

投資銀行業務の施策

・事業性評価先への多様な提案強化
・遺言信託、遺産整理業務の開始
・法個連携による相続・事業承継ビジネス推進強化

ストラクチャードファイナンスセンターの施策

・プロジェクトファイナンスなどの多様なローンへの取組み強化

投資銀行業務収益

有価証券運用戦略　－ アセットアロケーションの状況 －

あしたも、いっしょに。
中国銀行

【市場運用平残計画の前提】

※1：その他：金銭の信託、デリバティブ定期、長期信託受益権、投資事業組合等
※2：円建外債を含む。

部門収益向上に向けた基本運営方針

・「予兆把握能力」向上による機動的「アセットアロケーション」実行
・「運用商品解析、目利き能力」向上による「運用カテゴリー」拡大

28年度下半期の運用方針

◇邦貨債券は金利リスクに配意のうえ2兆円水準の残高維持
外貨債券は調達手段の多様化と併せ、相場動向勘案のうえ残高積み増しを検討する
ただし、邦貨・外貨併せた金利リスク管理を行い、機動的な入替売買の実施し、過度な金利リスクの積み増しは回避する
◇各資産の相場動向に応じた残高コントロールにより、収益および評価益のバランスの取れた極大化を目指す

投資資産別の利回り状況

※3：外貨外国証券は運用調達スプレッド

FinTechへの取組み

あしたも、いっしょに。
中国銀行

当行での取組み

決済
クレジット引落申込アプリによる
毎月決済のクレジットカード利用促進
(平成29年1月サービス開始予定)

クラウドファンディング
ミュージック・セキュリティーズとの提携

財務管理
クラウド会計サービスとの連携検討

アプリ
インターネットバンキングのログオンを
指紋認証により可能。
(平成28年6月サービス開始)

ロボアドバイザー
資産運用アドバイス機能の検討

ビッグデータ
営業推進活用のためのビッグデータ活用
AIを活用したデータ分析検討

T&Iイノベーションセンターでの取組み

H28.7.1 共同出資会社「T&Iイノベーションセンター㈱」を設立

より利便性の高い商品・サービス提供の実現にむけて、アライアンス参加6行間で検討中

[重点検討テーマ]

＜短期施策＞	＜中期施策＞
1．フィンテックコンテスト開催	1．ＴＳＵＢＡＳＡ　ＡＰＩ構築
2．ＡＩ活用サービス	2．ビッグデータ基盤の構築
3．新型決済サービス	3．データ分析による融資サービスの提供
4．バンキングアプリ	4．分析データ提供サービス

長期ビジョン（戦略の全体像・方向性）

あしたも、いっしょに。
中国銀行

「10年戦略プロジェクト」にて長期ビジョンの明確化と、実現に向けた戦略を立案

目的

地域経済が厳しさを増す中、地方銀行の使命を果たすため、長期的な将来見通しをふまえ
あらためて自らの「あるべき姿」を策定し、達成するための戦略を構築する

取組事項

- 現状分析・外部分析によるシナリオ策定
- 10年後の成行きの姿を算定・把握
- 長期ビジョンの策定
- 成行収支・シナリオをふまえ長期ビジョンに到達するための戦略を策定

全体戦略イメージ

豊かな未来を創る取組み

提供するサービスの質の向上

- **地域応援活動の高度化**
  - ー事業性評価を軸とした財務＋本業支援
- **ライフプランニング営業の強化**
  - ーお客さまのライフプランに応じた提案力強化
- **グループシナジーの最大化**
  - ーグループ・外部連携の強化
- **新事業領域の開拓**
  - ー戦略投資等による新事業領域の開拓

サービスを提供する機会の拡大

- **チャネル再構築**
  - ー対面・非対面チャネル両面による顧客接点の拡大
- **営業時間・営業人員の捻出**
  - ー抜本的な事務プロセスの見直しとIT投資に よる営業時間・営業人員の捻出
- **人財再配置**
  - ー事務・管理から営業人員へのシフト
  - ー有望マーケットへの人財再配置

経営の土台を創る取組み

サービスを提供するための体力の強化

- **生産性の向上**：人財のプロ化・本部サポート強化を通じた現場力の向上
- **組織改革**：戦略機能強化による全体最適化
- **ALM機能強化**：リスク/リターンの適切な評価、ポートフォリオの最適化
- **コストマネジメント**：OHR管理の徹底とメリハリのあるコストマネジメントの実施
- **心と組織風土改革**：ちゅうぎんの心を中心とした1人ひとりの心の変革と組織風土改革

組織活性化の取組み

あしたも、いっしょに。
中国銀行

■組織風土改革・働き方改革により、チームワークによる組織力の向上、頼りにされ支持される銀行へ

組織風土改革の取組み

取組み事項

一人ひとりの心の変革
「ちゅうぎんの心」の策定・浸透

コミュニケーションの良化
経営幹部と従業員とのミーティング実施

マネジメントの進化
挑戦への後押しを促進する風土醸成

働き方改革の取組み

女性管理監督者数の推移

※かっこ書きは管理職の数

株主還元

■年間配当２０円、総還元率３５％の株主還元を実施。

２８年度の配当予想

28年度業績予想

当期利益　203億円

（当初予想対比　＋15億円）

配当予想

現時点での利益予想に基づく配当方針

20.0円（安定配当18.0円）

自社株取得

H28.11.14～H28.12.21

上限120万株・上限15億円　取得予定

配当と自社株取得合計の還元率35％を目安とする

株主優待の実施

TSUBASA5行による地場特産品を使った優待の実施。

株主還元の状況

	当期純利益 ①	配当総額 ②	一株当たり配当（中間）	配当性向 ②÷①	自己株取得額 ③	未還元額 ④	総還元率 (②+③＋④) ÷①
29.3予	203	38.6	20.00円（10.00円）	19.0%	実施を公表している額15億円	１７億円	35%程度
28.3	259	39.2	20.00円（10.00円）	15.1%	52	0	35.2%
27.3	209	35.6	18.00円（8.00円）	17.0%	33	0	32.8%
26.3	270	32.3	16.00円（7.50円）	12.0%	49	0	30.3%
25.3	169	28.4	14.00円（6.75円）	16.8%	23	0	30.3%

※還元率算出における自己株取得は、株主総会を起点とする1年間に実施したもので算出。

あしたも、いっしょに。
中国銀行

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。